様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

栗山町中心市街地地区地区

令和6年3月

北海道栗山町

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	北海道	市町村名	栗山町	地区名	栗山町中心市街地地区		面積	40ha
交付期間	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和5年度	交付対象事業費	1,506百万円	国費率	0.4	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	町道改良事業（6路線）、公園（1箇所）、地域生活基盤施設（観光案内板）、高質空間形成施設（歩道、照明）、既存建造物活用事業（地域・観光交流センター）
	提案事業	地域創造支援事業（スマートウェルネス整備、放送施設整備、新町通りバスシェルター整備）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		
	提案事業	なし		
新たに追加した事業	基幹事業	なし		
	提案事業	なし		

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成30年度～令和4年度	
	変　更	―	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	区域内居住人口	人	1,120	R4コーホート法	1,190	R4栗山町人口ビジョン		1,082	×	あり		計画実施により安全で快適な住みよい環境作りは行い、若者等の居住者が、増加しているが、人口減少に歯止めをかけることはできず目標を達成できなかった。	－
										なし	●		
指標2	住環境の満足度	%	78	H25	82	R4		82	△	あり	●	道路整備や公園整備の実施により住みよい環境づくりを行っており、駅の賑わいも戻りつつあるため目標達成できる見込み。	令和6年度内
										なし			
指標3	区域内のウォーキング者数	人	110	H27	116	R4		116	△	あり	●	道路整備や健康遊具の設置により、街なかの回遊性が高まっているため今後、道道拡幅もされるため、目標を達成できる見込み。	令和6年度内
										なし			
指標4	区域内施設の利用者数	人	30,000	H27	41,200	R4		20,091	△	あり	●	観光交流センターについて開業が遅れたため数値としては、少ないが,利用者については、駅周辺の賑わいも戻りつつあるため目標を達成できる見込み。	令和6年度内
										なし			
指標5										あり			
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

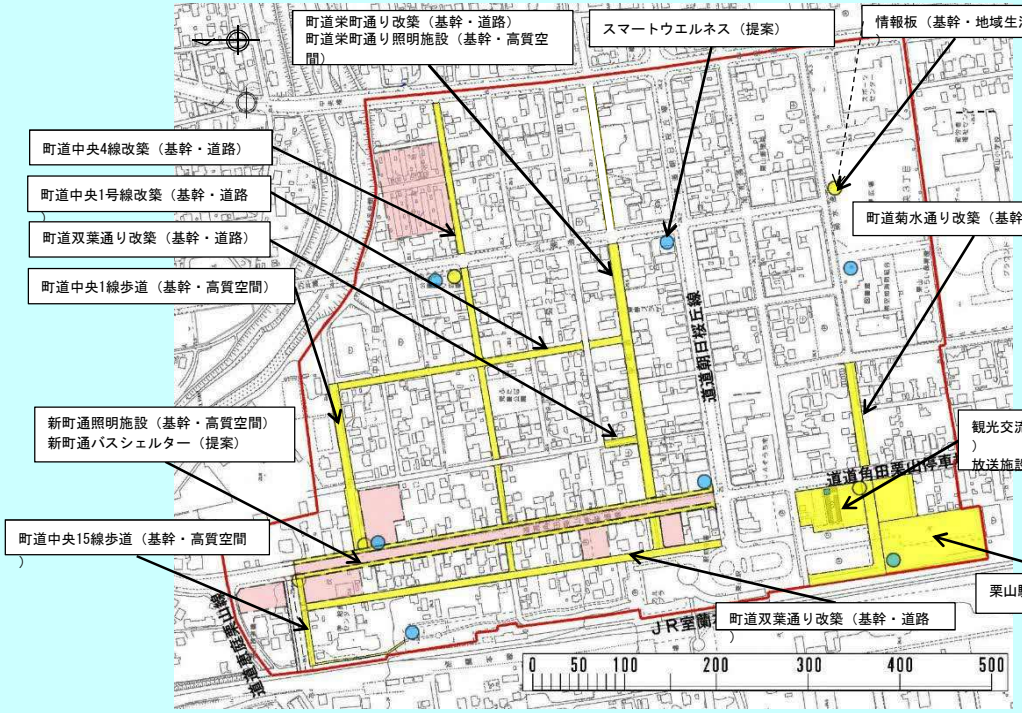
・地域観光・交流センターの整備により、地域住民・団体等の利用促進が図られるとともに、地域の主体的な活動の増加や地域住民と来訪者の交流機会の創出につながっている。

		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
5）実施過程の評価	モニタリング	ブランド推進課による施設利用者の把握	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	関係各課のモニタリングを継続し、事業の効果を確認する。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	官民連携による取組	新町通り将来ビジョン実現化委員会と行政が連携し、意見交換を行い、事業検討に取り組んだ。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		引き続き、意見交換を行い、官民連携によるまちづくりを進めていく。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり体制の構築	新町通り将来ビジョン実現化委員会	都市再生整備計画に記載し、実施できた		新町通り将来ビジョン実現化委員会による体制で行い、町は支援に徹する
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	

様式２－２　地区の概要

栗山町中心市街地地区（北海道栗山町）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：栗（マロン）と浪漫（ロマン）が健幸を織りなすコンパクトシティの実現まちなみの再生 目標1：中心市街地の活性化を支えるまちなか居住の実現(住環境等の改善) 目標2：高齢者・子ども達にも安心で、歩くことが楽しくなるまちなみ構造と安全な歩行者空間の確保（地域コミュニティの再生） 目標3：地域の歴史を踏まえ、来訪者とのふれあいを育む魅力的なまちなみ形成（まちなみの再生）	区域内居住人口	単位：人	1,120	H	1,190	R4	1,082	R4
	住環境の満足度	単位：%	78	H25	82	R4	82	R4
	区域内ウォーキング者数	単位：人	110	H27	116	R4	116	R4
	区域内施設の利用者数	単位：人	30,000	H27	41,200	R4	20,091	R4
		単位：		H		R		R



まちの課題の変化	・観光交流センターにより、駅周辺に賑わいが戻りつつあり、町民と来訪者との交流促進が見られる。 ・かつて国道沿線であった新町通の事業が遅延しているが、町営住宅建設による若者等の居住者が増えてきている。 ・道路整備や健康遊具の設置により、こどもや高齢者等による街なかの回遊性が促進されている。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	令和5年4月に栗山町立地適正化計画が策定され、誘導施策として ・居住誘導区域では、住宅団地の造成、生活環境の保全と空き家対策の実施、公営住宅の整備・改修 、移住・定住の促進（移住者への中古住宅取得支援）、若者・子育て世代の定住環境の整備（若者チャレンジ支援住宅整備事業） ・都市機能誘導区域では、栗山赤十字病院改築事業の推進、社会体育施設の計画的な改修 、商工業者の経営安定・改善・新規創業の支援、市街地整備を検討・推進、空き店舗、空き地情報の発信 、地域公共交通の維持・確保と利便性の向上、町営バスの運行による交通弱者の移動手段確保などが位置付けられており、都市再生整備計画事業の整備効果・整備目標を増加させると思われる。

都市再生整備計画　事後評価シート
（添付書類）

（1）成果の評価

添付様式1－①　都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
添付様式1－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（完成状況）
添付様式2－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
添付様式2－②　その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）により計測される効果発現の計測
添付様式2－参考記述　定量的に表現できない定性的な効果発現状況

（2）実施過程の評価

添付様式3－①　モニタリングの実施状況
添付様式3－②　官民連携による取組みの実施状況
添付様式3－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

（3）効果発現要因の整理

添付様式4－①　効果発現要因の整理にかかる検討体制
添付様式4－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
添付様式4－③　数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

（4）今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制
添付様式5－②　まちの課題の変化
添付様式5－③　今後のまちづくり方策
添付様式5－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見
添付様式5－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
添付様式6　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
添付様式6－参考記述　今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

（5）事後評価原案の公表

添付様式7　事後評価原案の公表

（6）評価委員会の審議

添付様式8　評価委員会の審議

（7）有識者からの意見聴取

添付様式9　有識者からの意見聴取

（1）成果の評価

添付様式１－①　都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他（　　）		●			

添付様式１－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
道路	町道中央4線	168	L=464m	303	L=464m	事業費確定による変更（事業費増）	影響なし	●	
道路	町道菊水通り	60	L=217m	66	L=217m	事業費確定による変更（事業費増）	影響なし	●	
道路	町道中央1号線	70	L=310m	80	L=310m	事業費確定による変更（事業費増）	影響なし	●	
道路	町道元町通り	105	L=457m	145	L=457m	事業費確定による変更（事業費増）	影響なし	●	
道路	町道双葉通り	64	L=40m	87	L=40m	事業費確定による変更（事業費増）	影響なし	●	
道路	町道栄町通り	114	L=468m	100	L=468m	事業費確定による変更（事業費減）	影響なし	●	
公園	栗山駅南公園	74	6,435m2	46	6,435m2	事業費確定による変更（事業費減）	影響なし	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	案内板整備	4	5基	4	5基	なし	影響なし	●	
高質空間形成施設	町道中央15線	13	L=201m	13	L=201m	なし	影響なし	●	
高質空間形成施設	町道栄町通り	13	16基	12	16基	事業費確定による変更（事業費減）	影響なし	●	
高質空間形成施設	町道中央1線	36	L=189m	36	L=189m	なし	影響なし	●	
高質空間形成施設	新町通	33	L=467m	19	L=467m	事業費確定による変更（事業費減）	影響なし		●
高次都市施設									
既存建造物活用事業	MARONプラザ改修整備	273	5134m2	498	5134m2	事業費確定による変更（事業費増）	影響なし	●	
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業（都市再生）									
住宅市街地総合整備事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式１－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
地域創造支援事業	スマートウェルネス整備	9	16基/7箇所	12	16基/7箇所	事業費確定による変更（事業費増）	影響なし	●	
	放送施設整備	78	31m2	83	31m2	事業費確定による変更（事業費増）	影響なし		●
	新町通バスシェルター整備	4	4箇所	2	4箇所	事業費確定による変更（事業費減）	影響なし	●	
事業活用調査									
まちづくり活動推進事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

（参考）関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費 当初計画	事業費 最終変更計画	事業期間 当初計画	事業期間 最終変更計画	進捗状況及び所見	備考
3・・4・8新町通街路事業		中央1・2丁目	993		H30～R4	H30～R4	事業実施中	
町営中央新町団地建替え事業		中央1丁目	670		R2～R4	R2～R4	事業完了	
町営中央団地建替え事業（単身者）		中央2丁目	150		R5～R6	R5～R6	事業完了	
新婚・子育て定住促進住宅地整備事業		中央1丁目	52		R4	R4	事業未着手	
地域おこし活動推進事業		中央1・2・3丁目	41		H31～R4	R1～R4	事業実施中	
若者チャレンジ支援住宅整備		中央2丁目	114		H30～H31	H30～R1	事業未着手	
放送施設整備			27		R3～R4	R3～R4	事業実施中	

添付様式２－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指　標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	目標値（ウ）	目標年度	数値（エ）			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
															あり	なし
指標1	区域内居住人口	人	住民基本台帳より			1,120	R4コーホート法	1,190	R4栗山町人口ビジョン	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定 見込み	● 1,082	事後評価	×		
指標2	住環境の満足度	%	アンケート調査より			78	H25	82	R4	モニタリング			モニタリング		●	
										事後評価	確定 見込み	● 82	事後評価			
指標3	区域内のウォーキング者数	人	アンケート調査より			110	H27	116	R4	モニタリング			モニタリング		●	
										事後評価	確定 見込み	● 116	事後評価			
指標4	区域内施設の利用者数	人	来場者数を受付にて計測			30,000	H27	41,200	R4	モニタリング			モニタリング		●	
										事後評価	確定 見込み	● 20,091	事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			

指　標	目標達成度〇△×の理由（達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む）	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
指標1	計画実施により安全で快適な住みよい環境作りは行い、若者等の居住者が、増加しているが、人口減少に歯止めをかけることはできず目標を達成できなかった。	
指標2	道路整備や公園整備の実施により住みよい環境づくりを行っており、駅の賑わいも戻りつつあるため目標達成できる見込み。	
指標3	道路整備や健康遊具の設置により、街なかの回遊性が高まっているため今後、道道拡幅もされるため、目標を達成できる見込み。	
指標4	観光交流センターについて開業が遅れたため数値としては、少ないが,利用者については、駅周辺の賑わいも戻りつつあるため目標を達成できる見込み。	
指標5		

※1　計画以前の値　とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。
※2　目標達成度の記入方法
〇 :評価値が目標値を上回った場合
△ :評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
× :評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式２－②　その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

指　標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	数値（ウ）			本指標を取り上げる理由	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
その他の数値指標1								モニタリング				
								事後評価	確定			
									見込み			
その他の数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定			
									見込み			
その他の数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定			
									見込み			

※1　計画以前の値　とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式２－参考記述　定量的に表現できない定性的な効果発現状況

（2）実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式３－①　モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
ブランド推進課による施設利用者の把握	予定どおり実施した	●	【実施頻度】毎年度1回 【実施時期】毎年度3月 【実施結果】採用した指標は、各種イベント集客数を担当課が整理されているものであるので、モニタリングを効率的に実施することができる。	関係各課のモニタリングを継続し、事業の効果を確認する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式３－②　官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
新町通り将来ビジョン実現化委員会と行政が連携し、意見交換を行い、事業検討に取り組んだ。	予定どおり実施した		【実施頻度】年2～3回程度 【実施時期】随時 【実施結果】整備計画について、町民の意見を聞いたため、持続的なまちづくりの体制の組織化に発展している。	引き続き、意見交換を行い、官民連携によるまちづくりを進めていく。
	予定はなかったが実施した	●		
	予定したが実施できなかった (理由　　)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式３－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			ⅰ．体制構築に向けた取組内容	ⅱ．まちづくり組織名：組織の概要	
新町通り将来ビジョン実現化委員会	予定どおり実施した				新町通り将来ビジョン実現化委員会による体制で行い、町は支援に徹する
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由　　)	●			
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由　　)				